



矯・働・早・勝

保護者の送迎や連絡が必要です。

- ・欠席・遅刻の連絡は欠席連絡フォームで8:00までをお願いします。
- ・連絡がない場合は安否確認のため、携帯電話や勤務先等への電話確認や家庭訪問する場合があります。
- ・早退や体育などの見学の場合も、学校や担任に御連絡ください。
- ・体調不良による遅刻や早退は安全確保のため、**保護者の送迎をお願いします。**

登校下校・帰宅時刻

登校 8:00~8:15

- ・決められた通学路を登下校します。
- ・**8時15分までに教室へ入り**ます。
- ・安全のため、早く登校し過ぎないように御協力ください。(けが等に対応できません)

下校時刻

5時間日課…A日課 14:15 B日課 14:00
6時間日課…A日課 15:05 B日課 14:50

帰宅

3~4, 9~10月 17時まで
5~8月 18時まで
11~2月 16時半まで

- ・冬の登下校時に雪玉をつくらない、持たない、投げない、雪山に登らない。

校外での約束

- ・保護者等、大人が留守の家には入らない。
- ・友達同士のお金の貸し借り、おごったりカード等を売ったり買ったりしない。
- ・デパート・大型店には保護者と一緒に行く。
- ・用事がないのにスーパーやコンビニに立ち寄らない。
- ・危険な遊びはしない。道路では遊ばない。
- ・インターネット、SNSなどの利用について、御家庭でルールを決めてください。事件・事故から児童を守りましょう。
- ・家の人に「行き先」「誰と」「帰宅時刻」を伝えて出掛けます。
- ※「**高台っ子のやくそく**」、「**夏・冬休みのくらし**」で御確認ください。

生活

毎日必要な物

給食袋

- エプロン ■三角巾
- ランチョンマット ■箸

その他

- 体育帽子
- 雑巾 2枚(床・机用各1)
- 洗濯挟み4つ (50~60cmのひもを輪にしたもの)

- ・汚れた日や週末・学期末などに持ち帰り、次の日や週・学期初めに持ってきます。

靴は靴箱にそろえて入れます。
※トレーの手前に靴のかかとを付けて、そろえて入れます。

服装・持ち物

毎日

- 動きやすく安全な服装
- 気温にあった服装
- ランドセル・かばん (両手が自由になる物)
- 上靴(裏が黒い物を選ぶ)
- ハンカチ・ティッシュ
- 連絡帳 ※必要に応じて
- 体育のときはジャージ

天候によって

- 雨具(1・2年生はカッパ3年生以上は傘でもよい)
- 手袋・帽子(寒い時期)

禁止

- 携帯・スマホ・貴重品
- その他学習に必要な物

※特別な事情がある場合には、担任に御相談ください。

お願い

学校への持ち物には記名をしてください。
・学習用具では同じ物を使って学習すること多いですし、同じ服を着ている場合もあります。脱ぎ着いたときや落とした場合にも、本人や周りの者がすぐに分かるようにしてください。

コート類には掛けひもを付けてください。
・教室の後ろに掛けやすいよう、ジャンパーやコートのタグの部分にひも(7~10cm)を付けてください。

水泳学習<重要>
※担任は、児童の安全指導や学習準備を優先します。
・水泳帽子がない場合は、入ることができません。
・水泳学習を見学する場合は保護者からの連絡が必要です。(連絡ノートや電話)
・絆創膏などを貼っている場合は、プールに入ることができません。(感染防止のため)

持ってくる学習用具

学習に集中できるよう、筆入れの中身はシンプルな物をそろえます。

鉛筆 (六角)	1年は2B 5本 2年は2BかB 5本 3・4年は2BかB 6本 5・6年はBかHB 6本
ペン等	1~3年は赤のみ 4~6年は赤・青 全学年黒の油性ペン1本
消しゴム	白1個(でこぼこでないもの)
スティックのり	粘着力があり、色残りがいないもの
ミニ定規 (15-20cm)	透明なもの1本 (折りたたみ不可) ※1年生は必要ありません。

※筆入れやかばんには、マスコットやキーホルダーなどを付けないうこと。

学校に置いておく学習用品

全学年共通

- 体育帽子
- はさみ
- とびなわ
- 色鉛筆(クーピー可)
- 探検バッグ

各学年

- ・お道具箱、お道具袋
- ・クレヨン
- ・粘土・粘土板(裏:工作板)
- ・算数セット
- ・鍵盤ハーモニカ
- ・リコーダー
- ・国語辞典

※三角定規・分度器は**透明なもの**。
※粘土、粘土板は高学年でも使用します。
※その他は、学年通信でお知らせします。

ノートをそろえています

各学年で使用するノート

- 1年
前期: 国~8マス十字リーダー入り
算~6マス十字リーダー入り
後期: 国~12マス十字リーダー入り
算~14マス
- 2年
前期: 国~12マス十字リーダー入り
後期: 国~15マス十字リーダー入り
(15mmマス縦15×横10)右開き
年間: 算~17マス
(12mmマス12×17)
- 3年: 国、社、算、理
5mm方眼十字リーダー入り
- 4年: 国、社、算、理
5mm方眼十字リーダー入り
- 5・6年: 国~縦15行
社、算、理、家
5mm方眼十字リーダー入り

学習

家庭学習

継続的な取組を

- ・学習習慣を身に付けられるように自主学習(問題を解く・丸付け・直し)に取り組みます。
- ・ノート見開き1ページ程度を目安にする。
- ・家庭では声掛け、学校ではノートの提出で取組の確認

家庭学習の内容と目安

- 《家庭学習の例》
・復習・音読・視写・暗記・計算・漢字・熟語・ローマ字・意味調べ・作文・予習等
・文字は丁寧に書きます。
・線を引くときには定規を使います。
- 《家庭学習の目安》

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年
時(分)	20	30	40	50	60	70

朝の活動8:15~8:35

朝学タイム(月・火・水・木曜日)

- ・学年で国語・算数・読書などの取組(月・火・水)
- ・自力解決と解答・解説をして解き方を身に付けます。
- ・国語は、漢字または教科書・ノート・タブレットを利用して学習(木)

朝読書(金曜日)

- ・図書館・学級文庫の緑ラベルの本・家庭から持ってきた物語の本。
- ・漫画・雑誌・図鑑・迷路・謎解き・教科書・ゲーム攻略本等は**不可**。

早寝・早起き・朝御飯

- ・登校直後から体の不調を訴え、体力・集中力がもたない児童がいます。

朝御飯で脳と体に切替えを

- ・朝食をとることで頭がさえ、集中力が向上します。朝食をとらせてください。主食・主菜・副菜がそろった朝御飯を心掛けましょう!

健康を守るために時間を決めて

ゲーム・パソコン・スマホなど

- ・規則正しい生活習慣とともに、家庭でゲームやパソコン、スマホを使用するルールをしっかりと決めましょう。(2時間以内が望ましい)

緊急時の連絡

- ・勤務時間後に電話がつかないときや連休中などに重大事案等が発生し、学校への緊急な連絡が必要な場合

kinkyu@takadai.els.asahikawa-hkd.ed.jp

記載事項:

- ①お子さんの名前、年・組
- ②連絡された方の名前
- ③連絡内容
- ④連絡先
- ⑤その他必要なこと

「マチコミメール」の登録・変更

不審者情報・臨時休校・学級閉鎖・集団下校などの場合

- ・集団下校や緊急時の下校・学級閉鎖(インフルエンザなど)のお知らせは、決定後、すぐにマチコミメールやプリントでお知らせします。

- ・未登録の方や登録したメールアドレスを変えた方は、学校に連絡をお願いします。学校より、登録に関わる手順書をお渡しします。手順書に沿って該当学年のグループに登録ください。

- ・通知をオンにするなど確認しやすい工夫をお願いします。

御遠慮ください

学校にお越しの際は…

- ・学校にお越しの際は、徒歩か自転車を利用してください。自転車は所定の場所へ。
- ・校舎周辺、近隣の商業施設駐車場への駐車は安全防止等のため御遠慮ください。
- ・けがなどの事情により、駐車のある場合は、学校まで御連絡ください。
- ・車で来校する機会があるときには、**学校前バス道路からさくら公園に向けての一方通行**の御協力をお願いします。

土産・転出時の御礼はいりません

- ・食物アレルギー対応や家庭事情等、配慮を必要とする児童がおりますので、**土産や転出時の御礼(文房具等)はなし**とします。

その他

読書のすすめ

毎週金曜日の朝学習の時間は、全校で朝読書に取り組んでいます。

- ※学級ごとに、中・昼休みや下校時に(時間限定で)本の貸出しも行い、本に親しむ機会をできるだけつくります。できるだけ本を読むようにしましょう。

その他のお知らせ

けがをして病院に行ったら

- ◆登校から下校までの児童のけがは「日本スポーツ振興センター」の対象です。
- ◆PTA活動などでのけがは「北海道PTA安全互助会」の対象となる場合があります。
- ・けがをして病院にかかったら担任に御連絡ください。手続きが必要な場合は書類をお渡します。

諸費(給食・学年費)納入期限

- ・納入期限は5月~2月の毎月10日です。通帳残高の確認をお願いします。

スクールカウンセラー(教育相談)

- ・相談を御希望の方は、学校(教頭または生徒指導)まで御連絡ください。

放課後児童クラブ

- ◆放課後児童クラブ 0166-54-1020
- ※留守家庭対象の「放課後児童クラブ」の手続きは児童クラブに直接、お問い合わせください。

中学校・地域連携

- ・髪の毛染・脱色・加工、装飾品の禁止等
- ・動きやすく安全で条件に合った服
- ・メディアと接する時間を減らす
- ・家庭との触れ合う時間を増やす
- ・読書等の時間をつくる
- ・校区内の歩道の花壇にボランティア活動として花植をして、水やりや草取りの世話をします。

